

ともに進める

翔子



神奈川県議会議員

県政報告2017年夏・7号

武田 翔

港北区
選出

〔発行元〕 武田翔 政務活動事務所

〒222-0011 横浜市港北区菊名1-6-11 平田ビル3階

TEL 045-947-2712 FAX 045-947-2713

E-mail info@shotakeda.com

ごあいさつ

平成29年第2回神奈川県議会定例会が7月6日に閉会しました。昨年度は、環境農政委員会に所属し、丹沢の山々の整備、漁業、農業、畜産業などを中心に議論を深めて参りましたが、本年度は、心機一転、文教委員会に所属し、子どもたちの輝く未来のために、「教育」について汗を流して参ります。

5月31日、東京都・国・組織委員会と関係自治体のトップが集まる協議会で、東京オリンピック・パラリンピックの費用負担問題は、「立候補ファイル」の原則に従って経費を負担することを確認しました。政府が1500億円、東京都と組織委員会がそれぞれ6000億円を負担することで合意しましたが、都外会場経費350億円についての割り振りは先送りされました。

なぜ、神奈川が費用負担問題についてほかの都県よりも急いでいたのか。それは、2020年に江ノ島周辺がセーリング会場になるからです。セーリング競技は、潮の流れや海底の形など、海の特徴を熟知しているチームが有利です。開催国が有利であってはならないので、2018年9月にプレプレ大会、2019年にプレ大会が開催されます。また、一部のチームは、今年の夏から練習を始めます。江ノ島周辺海域での漁業補償、江ノ島に停泊している船などの移動費用などをはじめ、急いで調整しなくてはならないことが多々あります。

引き続き、皆様のご期待に沿えるよう、頑張ります。

プロフィール

1981年12月神奈川県生まれ
横浜市港北区富士塚在住
家族構成：妻・長男

茅ヶ崎市立松浪小学校
福岡市立百道中学校
福岡大学附属大濠高等学校
カリフォルニア州立大学 卒業

2007年～
衆議院議員佐藤正久事務所秘書

2015年4月～
神奈川県議会議員
第18回統一地方選挙に神奈川県横浜市港北区から自民党公認候補として立候補し、16,999票で初当選。一期目として活動中。



セーリングは流れる風の揚力を動力として、水上で滑走する速さ・技術を競う競技です。

消えた棟方志功の謎



4月17日、神奈川県が所有している世界的版画家である棟方志功の「宇宙讃」がカラーコピーと入れ替わっていたと発表されました。

2014年に県立近代美術館で展示をしていたときに観覧者の指摘でコピーと判明しました。絵画を保管していた神奈川芸術文化財団が倉庫のどこかに版画があるはずだと約3年間探して、見つからなかったため、今回の発表に至りました。

なぜ、観覧者に指摘されるまで学芸員がわからなかったのか。なぜ、どこかにあるはずだと思い込んでいたのか。謎は深まるばかりです。

管理が杜撰で、県民の血税で購入したという意識が薄いということが残念です。

森林環境税創設について



昨年12月、自民党税制調査会は「森林環境税」を創設する方向性を固めました。山の荒廃が進んでおり、木材の生産、水源涵養、土砂流出防止などをはじめ、公益的機能を維持するためです。

しかしながら、37府県はすでに同様の税制制度を設けています。府県によって名前は違いますが、神奈川県は「水源環境税」で約40億円の規模があります。横浜市でも「横浜みどり税」があり、その規模は神奈川県の半分弱ですが、横浜市民はすでに2重課税になっております。

国が森林環境税の導入を行うと横浜市民は3重課税となり、また国に納めた税は、神奈川県内に還元されず、県外で使われる可能性が高いです。このことについては、私もしっかりと意見を述べて参ります。

済州(韓国)フォーラム2017に参加

6月1日～3日、新しいアジアの未来の形を追及する平和と繁栄のための済州フォーラムに参加しました。元アメリカ合衆国副大統領ゴア氏をはじめ、様々な国のリーダーが参加し、アジアの未来について、様々な熱い考えに聞き入りました。

日本からは地方自治というテーマで、都筑区選出の敷田博昭議員が神奈川県議会での手話言語条例制定について基調講演を行いました。

済州フォーラムは、2001年から開催され、今では約2000人が参加し、政治、外交、安保、経済、環境、教育、文化など多岐にわたり約60のセッションで構成されています。手厚い人員が配置がなされ、外国人に対してもきめ細かに丁寧な対応をしており、神奈川県も国際会議の運営に関しては学ぶべきものが多いと率直に感じました。

